

【なぞり練習用】うすい文字をなぞって書いてみよう

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう①



一 一 意
 拳 念 気
 両 発 投
 得 起 合

意 一 以
 味 喜 心
 深 一 伝
 長 憂 心

熟語	よみ	意味
意气投合	いきとうごう	気持（きも）ちや考（かんが）えなどが一致（いっち）すること
以心伝心	いしんでんしん	口に出さなくても、おたがいに心（こころ）の内（うち）が伝（つた）わること
一念発起	いちねんほっき	なにかをなしとげようと、大きな決心（けっしん）すること
一喜一憂	いっきいちゆう	小さなことで喜（よろこ）んだり不安（ふあ）になったりしてしまうこと
一挙両得	いっきりょうとく	一つの行動（こうどう）で、二つの利益（りえき）を得（え）ること。「一石二鳥（いっせきにちょう）」と同（おな）じ
意味深長	いみしんちょう	奥深（おくぶか）い意味（いみ）をもっていること

【なぞり練習用】うすい文字をなぞって書いてみよう

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう②

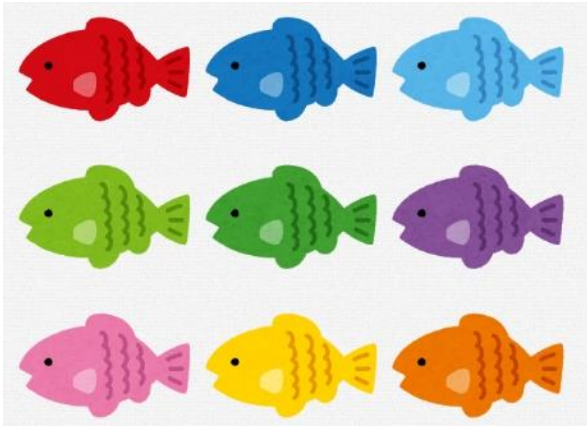


我田引水 喜怒哀楽 自業自得 弱肉強食 五里霧中 画竜点睛

熟語	よみ	意味
我田引水	がでんいんすい	ほかの人のことを考えず、自分に都合（つごう）がいいように言ったり行動（こうどう）したりすること
画竜点睛	がりょうてんせい	物事（ものごと）を完成（かんせい）するために、最後（さいご）にする大事（だいじ）な仕上（しあ）げのこと
喜怒哀楽	きどあいらく	よるこび、いかり、かなしみ、たのしみ。さまざまな人の感情（かんじょう）のこと
五里霧中	ごりむちゅう	きりで先が見えないように、どうしたらよいかわからず困（こま）ること
自業自得	じごうじとく	自分のしたことの結果（けっか）は自分が受（う）けることになる、ということ
弱肉強食	じゃくにくきょうしょく	弱（よわ）い者（もの）が強（つよ）い者のえじきになること。力のある者が勝（か）つということ

【なぞり練習用】うすい文字をなぞって書いてみよう

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう③



無 大 十
我 器 人
夢 晚 十
中 成 色

臨 日 絶
機 進 体
応 月 絶
変 歩 命

熟語	よみ	意味
十人十色	じゅうにんといろ	考（かんが）えや好（この）み、性質（せいしつ）などが、人によってそれぞれちがうということ
絶体絶命	ぜったいぜつめい	危険（きけん）からどうしてもにげられず、おいつめられているさま
大器晩成	たいきばんせい	本当に偉大（いだい）な人は、年を重（かさ）ねてからそうなるということ
日進月歩	にっしんげっぽ	日々たえまなく、どんどん進歩すること
無我夢中	むがむちゅう	一つのことにはすっかり心を奪（うば）われて、我（われ）を忘（わす）れてしまうさま
臨機応変	りんきおうへん	その時（とき）、その場（ば）に適（てき）した行動（こうどう）をとること

【なぞり練習用】うすい文字をなぞって書いてみよう

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう④



熟語	よみ	意味
七転八起	しちてんはっき	いくら失敗（しっぱい）してもくじけず、立ち上がって努力（どりょく）すること
背水之陣	はいすいのじん	決死（けっし）の覚悟（かくご）で戦（たたか）いにいどむこと
温故知新	おんこちしん	前に学んだことや昔（むかし）のことを調（しら）べて、新たな知識（ちしき）を得（え）ること
一所懸命	いっしょけんめい	命（いのち）がけでものごとに取（と）り組（く）むこと
前途洋洋	ぜんとようよう	人生が大きく開（ひら）けていて、希望（きぼう）に満（み）ちあふれているさま
大願成就	たいがんじょうじゅ	大きな望（のぞ）みがかなえられること